

日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

第72回大会プログラム

2020

2020年9月

5日(土)・6日(日)

(オンライン開催)

日本の大学経営

最新刊

——自律的・協働的改革をめざして

A5・上製・四二四頁・三九〇〇円

学長リーダーシップの条件

A5・並製・二二二頁・二六〇〇円

大学経営・政策入門

A5・並製・二七二頁・二四〇〇円

2040年 大学よ甦れ

A5・上製・二四〇頁・二四〇〇円

——力ギは自律的改革と創造的連携にある

A5・上製・二四〇頁・二四〇〇円

2040年 大学教育の展望

A5・上製・二九八頁・二五〇〇円

——世紀型学習成果をベースに

大学教授職の国際比較

A5・上製・三三六頁・四二〇〇円

エビデンスの時代のFD

A5・上製・三三六頁・四二〇〇円

大学改革の処方箋

A5・並製・二一六頁・三三〇〇円

PIISA調査の解剖

A5・並製・三七六頁・二五〇〇円

現代アメリカにおける学力形成論の展開

A5・上製・五三六頁・四八〇〇円

スタンダードに基づくカリキュラムの設計

A5・上製・三六〇頁・三三〇〇円

教育哲学のデューイ

A5・上製・三六〇頁・三三〇〇円

出版企画をお持ちの方は、下記代表メールへお問い合わせください。

社会に生きる個性

学びと成長の講話シリーズ③

自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー

四六・並製・二〇八頁・一五〇〇円

若者のアイデンティティ形成

A5・上製・二九六頁・三三〇〇円

女性エンパワメントと教育

A5・並製・一〇四頁・二〇〇〇円

他人事・自分事

A5・並製・二二八頁・二〇〇〇円

温暖化に挑む海洋教育

A5・上製・二八〇頁・三三〇〇円

ブラジルの校長直接選挙

A5・上製・一九二頁・三三〇〇円

芸術に根ざす授業構成論

A5・上製・三八四頁・三七〇〇円

アメリカ大学史における女性大学教員支援政策

A5・上製・二四八頁・三三〇〇円

近代中国人日本留学の社会史

A5・上製・三八四頁・六〇〇〇円

近代日本学校教育の師弟関係の変容と再構築

A5・上製・三二二頁・三三〇〇円

教育社会学会
！会員限定！

本広告内書籍や関連書の購入をご希望の方は、下書
記のQRコードまたはメール(toshindo_online@comにて「教社広告見たい」とご連絡ください。20%OFF 特価注文書 年
内有効をお送り致します。是非ご利用ください！ 特価注文書



〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
[価格税別] <http://www.toshindo-pub.com>

東 信 堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp [代表]

目次

	(頁)
○大会日程	3
○ご案内	4
◇9月4日(金)	(頁)
若手研究者交流会 (19:00～21:00)	6
◇9月5日(土)	
研究発表Ⅰ (9:00～11:40 *)	(頁)
I-1 教育の歴史社会学	7
I-2 変容する学校教育と社会(1)	8
I-3 教員志望者及び教師の力量形成	9
I-4 高等教育へのトランジション(1)	10
I-5 大学教員	11
I-6 進路選択	12
I-7 教育格差	13
I-8 困難な状況にある子どもの学習支援	14
(* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)	
研究発表Ⅱ (14:00～16:00 *)	(頁)
Ⅱ-1 子ども	15
Ⅱ-2 青少年	16
Ⅱ-3 不登校	17
Ⅱ-4 子どもたちを取り巻く教育	18
Ⅱ-5 児童生徒と教師の相互行為	19
Ⅱ-6 地域のつながりと教育	20
Ⅱ-7 変容する学校教育と社会(2)	21
Ⅱ-8 グローバリゼーションと教育	22
(* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)	

研究発表Ⅲ (16:15～18:15 *) (頁)

Ⅲ-1	子どもたちの生活といじめ	23
Ⅲ-2	家庭の教育戦略	24
Ⅲ-3	ジェンダー	25
Ⅲ-4	教育方法・カリキュラム論	26
Ⅲ-5	高等教育(1)	27
Ⅲ-6	多様な教育のあり方	28
Ⅲ-7	リカレント教育のゆくえ	29
Ⅲ-8	高等教育へのトランジション(2)	30

(* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)

◇9月6日(日)

研究発表Ⅳ (9:00～12:00 *) (頁)

Ⅳ-1	教育問題	31
Ⅳ-2	多様な児童生徒を対象とした教師	32
Ⅳ-3	学生のキャリア形成	33
Ⅳ-4	高等教育(2)	34
Ⅳ-5	高等教育(3)	35
Ⅳ-6	社会階層と教育達成	36
Ⅳ-7	多様な教育問題	37

(* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)

課題研究 (13:30～16:30) (頁)

I	学校で起こる教育課題に教育社会学はどう貢献できるか?	38
II	能力主義をどう考えるか?	39
III	高等教育の国際化と「知識外交」	40

◇オンデマンド報告 41

大会日程

前日：9月4日（金）			
19:00	—	21:00	若手研究者交流会
第1日：9月5日（土）			
9:00	—	11:40 *	研究発表Ⅰ
11:40	—	12:35	昼食
12:35	—	13:25	総会
13:25	—	13:50	学会奨励賞 授与式
13:50	—	14:00	休憩
14:00	—	16:00 *	研究発表Ⅱ
16:00	—	16:15	休憩
16:15	—	18:15 *	研究発表Ⅲ
第2日：9月6日（日）			
9:00	—	12:00 *	研究発表Ⅳ
12:00	—	13:10	昼食
13:30	—	16:30	課題研究Ⅰ
			課題研究Ⅱ
			課題研究Ⅲ

（* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります）

各種会合

前日：9月4日（金）			
15:00	—	16:00	常務会
16:00	—	18:00	理事会
第1日：9月5日（土）			
11:45	—	12:35	総会打ち合わせ
第2日：9月6日（日）			
12:05	—	12:50	評議員懇談会
12:05	—	12:50	課題研究Ⅰ 打ち合わせ
			課題研究Ⅱ 打ち合わせ
			課題研究Ⅲ 打ち合わせ

ご案内

1. 会場 教育社会学会ウェブサイト(<http://www.gakkai.ne.jp/jses/>)より、オンライン会場に入場してください。
2. 入場資格 本大会は、大会参加費をお支払いの会員のみ参加できます。
オンライン決済 または 銀行振込：
会員(一般):2,000 円 会員(学生):無料
【大会参加費】 * 銀行振込の方は、「大会参加参加申し込み」から口座情報を取得してください。
* オンライン決済、銀行振込の期限は、8 月 18 日(火)です。
- 【要旨集録】 オンライン会場にて入手できます。
- 【懇親会】 懇親会はありません。
3. Zoom 利用について Zoom を利用してのオンライン開催となりますが、Zoom 利用の手引き、視聴者の参加ガイドライン、発表者の参加ガイドラインなどは、追って、ホームページに掲載します。
4. 発表時間 <ライブ型発表について>
発表時間は、発表者の人数によって下記ようになります。
発表者 1 名……発表 20 分＋質疑応答 5 分
発表者 2 名以上…発表 40 分＋質疑応答 10 分
発表終了 5 分前に1鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。
本大会は、総括討論を行いません。
なお、司会者と発表者の方は、事前に接続状況や運営手順を確認するため、部会開始 15 分前に各部会の会場に入場してください。
- <オンデマンド型発表について>
おおむね、ライブ型発表に準じて行います。
5. 欠席の場合 発表者が欠席するときは、9月3日(木)までに必ず、大会実行委員会に E-mail でお知らせください。
発表者が欠席の場合に、発表時間の繰り上げは行いません。

6. 司会者の方へ オンライン開催に伴い、発表時間を管理する補助者(タイムキーパー)を部会に配置しておりません。司会者の皆様に時間管理を行ってくださいますよう、お願い申し上げます。

7. 発表者の方へ **カラー資料作成の手引き**
～色覚バリアフリーの実現にむけて～

本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等におけるカラー色の使い方の配慮など、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

- ① 赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
- ② レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
- ③ 明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
- ④ 輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
- ⑤ ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
- ⑥ 対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。
(例:この四角い赤のマークは…)

8. 資料の配布 オンライン開催に伴い、各種発表資料の配布は、ウェブサイト上で行います。詳しくは大会ウェブサイトでご確認ください。

若手研究者交流会

9月4日（金）19:00-21:00

若手研究者交流会を、大会前日の9月4日（金）に開催します。従来方法を踏襲しつつも、新たなテイストを盛り込んだ企画を考えています。

若手研究者交流会の目的は、大学院生をはじめとする若手の研究者が、研究室・大学をこえた交流をととして、研究上の関心や課題と新たな気づきを共有し、また研究者相互のネットワークを拡充することです。本交流会を担当する教育部では、できるだけ若手の目線で企画を立てるべく、若い世代の部員を交えて議論を重ねてきました。

そこで今年度は、下記の2つのラウンドテーブルを用意しました。いずれか1つのテーブルを選んでご参加ください。参加は無料で、非会員も自由に参加できます。

参加には、**事前の申し込みが必要**です。学会ウェブサイトにて詳細を掲載するので、案内に従って申し込みフォームに必要事項を記入して送信してください。ご登録いただいたメールアドレス宛に、当日のZoom会場の情報等を、送付します。その他、本交流会に関する**最新の情報は学会ウェブサイト上に**、必要に応じて発表します。適宜ご参照いただきたくお願い申し上げます。

【日時】 2020年9月4日（金）19:00～21:00（懇親会は開催しません）

【場所】 Zoom

【参加対象】 大学院生や初期キャリア段階の大学教員など、教育社会学に関心をもつ若手研究者。非学会員や学部生も、参加可能です。参加費は無料です。

【ラウンドテーブル】

1. 大学院生のサバイバル・ストラテジー

大学院生の関心や課題についての話題提供と質疑応答の後、小グループでの交流を予定します。テーマは、入学会、年間計画、修士論文・博士論文、共同研究、学外の研究者との交流、論文投稿、助成金獲得等、時間の限り多岐にわたる予定です。

話題提供者：前田麦穂（兵庫教育大学・日本学術振興会特別研究員PD）、
粕谷圭佑（立教大学大学院）、野村駿（名古屋大学大学院）
司会：中村瑛仁（大阪大学）

2. 若手大学教員のキャリア・マネジメント

大学専任教員の初期キャリア段階（任期付・ポストク含む）を想定した話題提供と質疑応答の後、小グループでの交流を予定します。テーマは、講義や演習の題材、ゼミ・卒論指導、依頼原稿、学内業務、助成金獲得等、時間の限り多岐にわたる予定です。

話題提供者：中島葉子（岐阜聖徳学園大学）、須藤康介（明星大学）
司会：久保田真功（関西学院大学）

【準備物】

研究者間の交流を目的としているため、カメラの使用を推奨します。ただし、機器が準備できないなど特別な事情がある場合には、カメラをOFFにして参加することも可能です。

【企画担当】

教育部：内田良（名古屋大学）、間山広朗（神奈川大学）、内田康弘（愛知学院大学）

I－1 部会

教育の歴史社会学

9月5日（土）9：00-11：25

司会

広田照幸（日本大学） 多賀太（関西大学）

- | | |
|------------------------|---|
| 9：00－9：25
【10101】 | 1. 人物評価論の変化に伴う児童観の変容
—明治期操行査定論の分析を通して—
井出大輝（立教大学大学院） |
| 9：30－9：55
【10102】 | 2. 校則がもつ意味とその歴史-社会的役割の考察
—明治期の学校管理論に着目して—
水谷智彦（尚絅大学） |
| 10：00－10：25
【10103】 | 3. ポスト高度経済成長期の平等をめぐる教育言説に関する考察
相澤真一（上智大学） |
| 10：30－10：55
【10104】 | 4. 大正期中学校の学校紛擾と教師・生徒関係
—水戸中学校同盟休校（1921年）の事例—
太田拓紀（滋賀大学） |
| 11：00－11：25
【10105】 | 5. ミッション系女子教育にみる知識伝達の社会史
天童睦子（宮城学院女子大学） |

I－2部会

変容する学校教育と社会（1）

9月5日（土）9：00-11：20

司会

加野芳正（香川短期大学） 山本雄二（関西大学）

- | | |
|------------------------|--|
| 9：00－9：25
【10201】 | 1. 生徒間トラブルのオルタナティブな関係性の〈修復〉
梅田崇広（広島大学大学院） |
| 9：30－9：55
【10202】 | 2. 私立広域通信制高校における学習センターの成立過程
秋山吉則（京都教育センター） |
| 10：00－10：25
【10203】 | 3. 労働者性に向き合うスクールソーシャルワーカー
藤本啓寛（早稲田大学大学院） |
| 10：30－11：20
【10204】 | 4. 学習時間をとらえ直す
—私立大学附属系属高校を対象に—
○沈雨香（早稲田大学）
○武藤浩子（早稲田大学大学院）
山本桃子（早稲田大学 非会員）
木村康彦（千葉大学 非会員） |

I - 3 部会

教員志望者及び教師の力量形成

9月5日(土) 9:00-11:20

司会

稲垣恭子（京都大学） 伊藤秀樹（東京学芸大学）

9 : 00—9 : 25

【10301】

1. 課題集中校における新任教員の離職とその原因

宮本舞花（甲府市役所）

9 : 30—9 : 55

【10302】

2. 個人作業を導く一斉指導の構成

—幼稚園年少級における製作場面に着目して—

粕谷圭佑（立教大学大学院）

10 : 00—10 : 25

【10303】

3. 初任者教師の「困難」は何か？

寺町晋哉 (宮崎公立大学)

10 : 30—11 : 20

【10304】

4. 教師は教師に何を伝えるのか

—問題経験の語りにみる「協働」の分析—

○稲葉浩一（北海道教育大学）

小野奈生子 (共栄大学)

○山田鋭生（共栄大学）

○高嶋江（立教大学大学院）

I－4 部会

高等教育へのトランジション（1）

9月5日（土）9：00-11：25

司会

尾嶋史章（同志社大学） 本田由紀（東京大学）

- | | |
|------------------------|--|
| 9：00－9：25
【10401】 | 1. 大学生の進路意識に及ぼす学習行動の影響
—中国の「三本大学」を中心にして—
呉彤（広島大学大学院） |
| 9：30－9：55
【10402】 | 2. 高専入学者は、中学時代に、高専をどのようにとらえていたのか
—高専新入生を対象とした質問紙調査の分析より—
吉村薫（早稲田大学大学院） |
| 10：00－10：25
【10403】 | 3. 大学生の出身高校類型と教科書を読み返す習慣の有無との関連
黒河内利臣（武蔵野大学（非常勤）） |
| 10：30－10：55
【10404】 | 4. 科目可否と学生属性
—非難関大学における事例研究—
宇田川拓雄（嘉悦大学） |
| 11：00－11：25
【10405】 | 5. 大学不本意入学者の進路選択に対する自発性の特徴
—入試の選抜性に着目して—
竹内正興（広島大学） |

I－5 部会

大学教員

9月5日（土）9：00-11：40

司会

伊藤彰浩（名古屋大学） 坂無淳（福岡県立大学）

9：00－9：50

1. 女性学長のキャリアパス

【10501】

—日本の構造的特徴と将来展望の探索—

○河野銀子（山形大学）

○米澤彰純（東北大学）

○佐々木啓子（電気通信大学）

○黄梅英（尚絅学院大学）

高橋裕子（津田塾大学 非会員）

9：55－10：45

2. 大学における地域・職業教育的機能と教員

【10502】

—12 大学調査から—

○稲永由紀（筑波大学）

○伊藤一統（宇部フロンティア大学短期大学部）

○猪股歳之（東北大学）

伊藤友子（熊本学園大学）

吉本圭一（滋慶医療科学大学院大学）

10：50－11：40

3. 変貌する大学教授職の研究（2）

【10503】

—大学教員の社会サービス活動を中心として—

○有本章（兵庫大学）

○大膳司（広島大学）

○黄福涛（広島大学）

藤村正司（広島大学）

村澤昌崇（広島大学）

Kim Yangson（広島大学）

浦田広朗（桜美林大学）

天野智水（琉球大学）

葛城浩一（香川大学）

I－6部会

進路選択

9月5日（土）9：00-11：20

司会

加藤潤（愛知大学） 岩脇千裕（労働政策研究・研修機構）

- 9：00－9：25
【10601】 1. スキルを活用できているのは誰か
—国際成人力調査（PIAAC）による基礎的分析—
瀬戸健太郎（早稲田大学大学院）
- 9：30－9：55
【10602】 2. フリースクールにおいて「進路未定」はいかに解釈されているか？
藤村晃成（大分大学）
- 10：00－10：25
【10603】 3. 男女における進学希望と実際の進学
—進路におけるジェンダートラッキング—
多喜弘文（法政大学）
- 10：30－11：20
【10604】 4. 新型コロナ危機が顕在化させた人口減少下の公立学校の脆弱性
—教育事象における格差概念の再定位を視野に—
○西本裕輝（琉球大学）
○馬居政幸（馬居教育調査研究所）
望月重信（明治学院大学（名））
春日清孝（明治学院大学（非常勤））
藤田由美子（福岡大学）
角替弘規（静岡県立大学）
遠藤宏美（宮崎大学）

I-7 部会

教育格差

9月5日(土) 9:00-11:20

司会

小内透（北海道大学） 古田和久（新潟大学）

- | | |
|-------------|---|
| 9:00-9:25 | 1. マタイ効果に基づく学力格差の拡大メカニズムに関する一考察
【10701】
数実浩佑（日本学術振興会） |
| 9:30-9:55 | 2. 学校で収集されたパネルデータによる「教育格差」分析
【10702】
松岡亮二（早稲田大学） |
| 10:00-10:25 | 3. 機会の平等化に向けた汎用的スキルへの着目
【10703】
—経済的地位の世代間連鎖の分析を手がかりに—
卯月由佳（国立教育政策研究所） |
| 10:30-11:20 | 4. 生活困窮者自立支援法にもとづく子どもの学習支援事業の効果検証
【10704】
—中学生と保護者に対する事業利用の有無にもとづく
二群事前事後調査の分析から—
○山本宏樹（東京電機大学）
太田昌志（早稲田大学大学院）
○藤間公太（国立社会保障・人口問題研究所）
濱沖敢太郎（鹿児島大学）
渡邊綾（一橋大学大学院）
○知念渉（神田外語大学）
○山田哲也（一橋大学） |

I－8 部会

困難な状況にある子どもの学習支援

9月5日（土）9：00-10：50

司会

鍛冶致（大阪成蹊大学） 三浦綾希子（中京大学）

- 9：00－9：25
【10801】 1. 日本のベトナム系移民二世代のトランスナショナリズム
—ベトナムでの生活を始める若者たちの語りから—
清水睦美（日本女子大学）
- 9：30－9：55
【10802】 2. 日本語指導が必要な子どもの進路状況
—神奈川県立高校調査から—
吉田美穂（弘前大学）
- 10：00－10：50
【10803】 3. 在日ネパール人の子どもの教育課題
—エスニシティ・移民形態・教育ニーズの観点から—
○ハヤシザキカズヒコ（福岡教育大学）
○シム チュン・キャット（昭和女子大学）
○榎井縁（大阪大学）
山野上麻衣（一橋大学大学院）
山ノ内裕子（関西大学）

Ⅱ－１部会

子ども

9月5日（土）14：00－15：55

司会

阿形健司（同志社大学） 山田哲也（一橋大学）

- 14：00－14：25 1. 「子どもの貧困」の問題構成における心理的知識の布置
【20101】 栗原和樹（一橋大学大学院）
- 14：30－14：55 2. 児童養護施設で暮らす子どもたちの友人関係に関する一考察
【20102】 —小学校と児童養護施設の事例から—
宇田智佳（大阪大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 児童自立支援施設における「繋がり」の構築要素の変化
【20103】 —07年・19年調査結果より、作業・行事・アフターケアを中心に—
武千晴（日本女子大学）
- 15：30－15：55 4. 「自閉症の子ども」をめぐる療育記録の分析
【20104】 鶴田真紀（創価大学）

Ⅱ－２部会

青少年

9月5日（土）14：00－15：55

司会

古賀正義（中央大学） 大多和直樹（お茶の水女子大学）

- 14：00－14：25 1. 南米系第二世代青年における定時制高校の経験
【20201】 —労働と就学に着目して—
谷川由佳（一橋大学大学院）
- 14：30－14：55 2. なぜ若者は夢を諦めるのか？
【20202】 —標準的ライフコースに移行する夢追いバンドマンを事例として—
野村駿（名古屋大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 非行少年の「立ち直り」
【20203】 —学歴に対する異なる認識に着目して—
都島梨紗（岡山県立大学）
- 15：30－15：55 4. 警察が語る青少年
【20204】 —1950年代を中心に—
中山良子（和歌山工業高等専門学校（非常勤））

II-3 部会

不登校

9月5日(土) 14:00-15:25

司会

松浦善満（大阪千代田短期大学） 瀬戸知也（静岡文化芸術大学）

- | | | |
|-------------|--|------------------|
| 14：00—14：25 | 1. 貧困が不登校に及ぼす影響の実証研究
【20301】 | 梶原豪人（東京都立大学大学院） |
| 14：30—14：55 | 2. 不登校の病理化をめぐる歴史的内実
—1980年代の精神医学と臨床心理学に着目して—
【20302】 | 水谷千景（京都大学大学院） |
| 15：00—15：25 | 3. 学校に行かない子どもに関する調査のポリティクス
—子どもを回答者とする実態調査に着目して—
【20303】 | 田中佑弥（大阪市立花乃井中学校） |

Ⅱ－４部会

子どもたちを取り巻く教育

9月5日（土）14：00－15：55

司会

酒井朗（上智大学） 高田一宏（大阪大学）

- 14：00－14：25 1. 1980年代～1990年代の不登校の対応策にみられる「親・家庭原因説」の変遷
【20401】 —文部省『生徒指導資料』を中心に—
赤池紀子（早稲田大学大学院）
- 14：30－14：55 2. 就学前教育の利用は学力を保障するのか？
【20402】 —決定木分析を用いた分析—
中西啓喜（立教大学）
- 15：00－15：25 3. 児童養護施設職員の家族関係再構築に対する意味づけの変容
【20403】 山口季音（至誠館大学）
- 15：30－15：55 4. 近代日本の美術家輩出過程に関する考察
【20404】 —自叙伝を手がかりに—
多賀太（関西大学）

Ⅱ－５部会

児童生徒と教師の相互行為

9月5日（土）14：00－15：25

司会

油布佐和子（早稲田大学） 伊佐夏実（宝塚大学）

- 14：00－14：25 1. 児童生徒支援加配教員の仕事の検討
【20501】 —関西の小学校における終日観察から—
 山口真美（大阪大学大学院）
- 14：30－14：55 2. 学級の秩序化実践と周縁的存在としての教師
【20502】 平井大輝（立教大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 「ほめる・認める生徒指導」によって目指される「包摂」
【20503】 —小学校教員へのインタビュー調査に基づく検討—
 伊藤秀樹（東京学芸大学）

Ⅱ－6 部会

地域のつながりと教育

9月5日（土）14：00－15：50

司会

葛上秀文（鳴門教育大学） 村山詩帆（佐賀大学）

- 14：00－14：25 1. 社会変容と地域伝統文化の継承問題
【20601】 —栗原市築館地区「薬師まつり」を事例として—
 亀井あかね（東北工業大学）
- 14：30－14：55 2. 地方創生下のコミュニティをめぐる「協働」論理の変容
【20602】 荻野亮吾（佐賀大学）
- 15：00－15：50 3. 中学生の学校生活とライフコース展望に対する被災経験の影響
【20603】 —岩手県陸前高田市・大船渡市の生徒・保護者調査の結果から—
 清水睦美（日本女子大学）
 ○妹尾渉（国立教育政策研究所）
 ○日下田岳史（大正大学）
 ○堀健志（上越教育大学）
 ○松田洋介（大東文化大学）
 山本宏樹（東京電機大学）

Ⅱ－７部会

変容する学校教育と社会（２）

９月５日（土）１４：００－１５：５５

司会

小林雅之（桜美林大学） 濱中淳子（早稲田大学）

- | | |
|------------------------|--|
| 14：00－14：25
【20701】 | 1. 新自由主義的教育改革に対する教員の態度
—関西地区中学校教員への質問紙調査から—
中村瑛仁（大阪大学） |
| 14：30－14：55
【20702】 | 2. 学校選択制は学校の「切磋琢磨」をもたらしているか
—大阪市の学校選択制の事例より—
濱元伸彦（関西学院大学） |
| 15：00－15：25
【20703】 | 3. 日本の教育行政が実施する学力調査の特徴について
川口俊明（福岡教育大学） |
| 15：30－15：55
【20704】 | 4. 《教育における排除-包摂》という問題機制への反省
—ルーマン理論を手がかりとした出口の模索—
倉石一郎（京都大学） |

II-8部会

グローバルゼーションと教育

9月5日(土) 14:00-15:25

司会

岩井八郎（京都大学） 中村高康（東京大学）

- | | |
|-------------|---|
| 14:00—14:25 | 1. 中国の義務教育における地域間の学校間格差 |
| 【20801】 | 馬楽（広島大学大学院） |
| 14:30—14:55 | 2. 高校生の「海外留学／就労」期待の規定要因 |
| 【20802】 | —出身階層と価値志向に着目して—
太田知彩（名古屋大学大学院） |
| 15:00—15:25 | 3. A Study on Education Access and Continuity in Northern Laos: |
| 【20803】 | When Villagers left School and Why
Miki Inui (University of Hyogo) |

Ⅲ－１部会

子どもたちの生活といじめ

9月5日（土）16：15－18：05

司会

作田誠一郎（佛教大学） 鶴田真紀（創価大学）

- 16：15－16：40 1. 小中高生のゲーム時間が成績と睡眠時間に与える影響
【30101】 —JLSCP2015-2019 データを用いて—
須藤康介（明星大学）
- 16：45－17：10 2. いじめ指導における法教育の可能性
【30102】 —『子ども六法』に刺激を受けて—
間山広朗（神奈川大学）
- 17：15－18：05 3. ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅳ）
【30103】
○原清治（佛教大学）
松浦善満（大阪千代田短期大学）
○山内乾史（神戸大学）
大多和直樹（お茶の水女子大学）
小針誠（青山学院大学）
小林至道（青山学院大学）
○浅田瞳（華頂短期大学）
西谷雅史（エースチャイルド）

Ⅲ-2部会

家庭の教育戦略

9月5日(土) 16:15-17:40

司会

片岡栄美（駒澤大学） 加藤隆雄（南山大学）

- | | |
|-------------|--|
| 16：15－16：40 | 1. 日中国際結婚家庭における継承語伝達の階層差
【30201】 轟恵菁（大阪大学大学院） |
| 16：45－17：10 | 2. 小学生の金融社会化における階層性
【30202】 —社会化エージェントとしての母親に注目して—
松川誠一（東京学芸大学） |
| 17：15－17：40 | 3. 社会階層・子どもの性別によって「親の教育期待」はどのように異なるのか
【30203】 —年長児の子どもを持つ大都市近郊家庭の聞き取り調査をもとに—
金南咲季（椋山女学園大学） |

III-3 部会

ジェンダー

9月5日(土) 16:15-18:10

司会

木村涼子（大阪大学） 中西祐子（武蔵大学）

- | | |
|-----------------|--|
| 16 : 15-16 : 40 | 1. 不安定雇用の女性研究者の困難経験
【30301】 廣森直子（青森県立保健大学） |
| 16 : 45-17 : 10 | 2. 高卒後の進路選択におけるジェンダー差
【30302】 —クーリング・アウトされる女子／されない女子に関する分析—
伊佐夏実（宝塚大学） |
| 17 : 15-17 : 40 | 3. 日本社会における性の多様性への認識の変化
【30303】 —正統的文化資本としての教科書・辞典を手がかりとして—
岩本健良（金沢大学） |
| 17 : 45-18 : 10 | 4. 少女たちのリスペクタビリティ
【30304】 —明治 30 年代・弘前女学校卒論のテキストマイニング—
片瀬一男（東北学院大学） |

Ⅲ－４部会

教育方法・カリキュラム論

9月5日（土）16：15－18：10

司会

浅沼茂（立正大学） 片山悠樹（愛知教育大学）

- 16：15－16：40 1. 高校「現代社会」における思考力の具体化
【30401】 —教科書の作業的学習課題を通じて—
小原明恵（東京大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 中国農村部におけるレッスン・スタディの受容
【30402】 陳雨（広島大学大学院）
- 17：15－17：40 3. 台湾の十二年国民基本教育政策におけるカリキュラム改革の特徴と課題
【30403】 劉語霏（中國文化大學（Chinese Culture University））
- 17：45－18：10 4. 権利としてのカリキュラムを保障するための論理構築
【30404】 —Michael F. D. Youngは、「社会学」を基盤に
誰に向け何を主張しているのか—
柳田雅明（青山学院大学）

Ⅲ-5 部会

高等教育 (1)

9月5日 (土) 16:15-18:10

司会

藤村正司（広島大学） 戸村理（東北大学）

- | | |
|-------------|--|
| 16:15-16:40 | 1. 学歴ミスマッチと職業・教育への主観的評価
園部香里（京都大学大学院）
【30501】 |
| 16:45-17:10 | 2. 英語学位プログラムへの外国人高校生の進学アスピレーションに関する研究
—日本の大学を事例として—
三好登（広島大学）
【30502】 |
| 17:15-17:40 | 3. 「研究する実践家」の研究
—医学、心理学、教育学の学会誌の分析から—
丸山和昭（名古屋大学）
【30503】 |
| 17:45-18:10 | 4. エミール・ブトミーとシアンス・ポー
白鳥義彦（神戸大学）
【30504】 |

Ⅲ－６部会

多様な教育のあり方

9月5日（土）16：15－18：10

司会

丸山英樹（上智大学） 園山大祐（大阪大学）

- 16：15－16：40 1. 学校地域間連携活動における学業達成に関する垂直的序列化への対応
【30601】 —ボランティアによる多様な価値保障に着目して—
 中野綾香（東京大学大学院）
- 16：45－17：10 2. ノンフォーマル教育における支援者の教育観
【30602】 山野上麻衣（一橋大学大学院）
- 17：15－17：40 3. アメリカにおける中国系移民生徒の居場所づくりに関する
【30603】 参加型アクションリサーチ
 徳永智子（筑波大学）
- 17：45－18：10 4. 初等教育における転校が学力に与える影響
【30604】 —サブサハラ・アフリカの事例—
 谷口京子（広島大学）

Ⅲ－７部会

リカレント教育のゆくえ

9月5日（土）16：15－17：35

司会

岩永雅也（放送大学） 田中雅文（日本女子大学）

- 16：15－16：45 1. MOOCにおける修了率に関する考察
【30701】 —履修者タイプ・労働時間に着目して—
遠藤健（早稲田大学）

- 16：45－17：35 2. 社会人の学び直しに関する探索的実証研究
【30702】
○加藤潤（愛知大学）
○田川隆博（中部大学）
○長谷川哲也（岐阜大学）
今津孝次郎（星槎大学）
林雅代（南山大学）
白山真澄（東海学院大学）

Ⅲ－８部会

高等教育へのトランジション（２）

9月5日（土）16：15－18：10

司会

西島央（青山学院大学） 堀有喜衣（労働政策研究・研修機構）

- 16：15－16：40 1. 社会階層と性別による進路希望と進路結果の不一致
【30801】 —浪人選択を中心とする分析—
佐伯厘咲（大阪大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 日韓の教員志望学生における教職選択の動機の検討
【30802】 朴聖希（奈良女子大学大学院）
- 17：15－17：40 3. 高卒後進路の費用負担と親学歴
【30803】 豊永耕平（立教大学）
- 17：45－18：10 4. 東京圏の大学進学者における国公立大学志向に関する研究
【30804】 永野拓矢（名古屋大学）

IV－１部会

教育問題

9月6日（日）9：00－11：50

司会

北澤毅（立教大学） 内田良（名古屋大学）

- 9：00－9：25
【40101】 1. 運動部活動を通じて形成される体罰に対する意識に関する一考察
—大学進学行動との関わりに注目して—
長谷川誠（神戸松蔭女子学院大学）
- 9：30－9：55
【40102】 2. 医療家はどのようにして障害児教育を語るのか
—場面緘黙児の教育書に着目して—
古殿真大（名古屋大学大学院）
- 10：00－10：25
【40103】 3. 子どもの自殺はいかに語られていたのか
—戦後から1970年代までを中心に—
今井聖（立教大学大学院）
- 10：30－10：55
【40104】 4. 少年院の経験と進路展望
—就学を希望する少年の語りに注目して—
大江将貴（京都大学大学院）
- 11：00－11：50
【40105】 5. 現代における定時制・通信制高校の意義と役割意識
○大谷直史（鳥取大学）
○柿内真紀（鳥取大学）

Ⅳ－２部会

多様な児童生徒を対象とした教師

9月6日（日）9：00－11：25

司会

清水睦美（日本女子大学） 湯川やよい（愛知大学）

- | | |
|------------------------|--|
| 9：00－9：25
【40201】 | 1. 外国人生徒の差異をめぐる教師のパースペクティブ
—知識社会学の視点から—
大東直樹（神戸大学大学院） |
| 9：30－9：55
【40202】 | 2. 教職課程履修者の進路と教職に対する評価
小幡佳太郎（早稲田大学大学院） |
| 10：00－10：25
【40203】 | 3. インクルーシブ教育における意味的排除と教師のストラテジー
—「理想の教育」から「理想の生活形式」へ—
佐藤貴宣（立命館大学） |
| 10：30－10：55
【40204】 | 4. 養護教諭の職業的社会化研究の課題と方向性
篠原清夫（三育学院大学） |
| 11：00－11：25
【40205】 | 5. 視覚障害教員を阻む学校文化の障壁とその超克のストラテジー
—ある高校教師のアイデンティティ・ワーク—
原田琢也（金城学院大学） |

IV－3 部会

学生のキャリア形成

9月6日（日）9：00－11：25

司会

米澤彰純（東北大学） 西村幹子（国際基督教大学）

- 9：00－9：25
【40301】 1. 大学におけるキャリア教育の効果と限界
—ボーダーフリー大学から大企業総合職に就職した学生の事例を通して—
菊池美由紀（名古屋大学大学院）
- 9：30－9：55
【40302】 2. 労災防止のための資格教育に関する検討
○山中憲行（前橋工科大学）
中島徹（前橋工科大学 非会員）
- 10：00－10：25
【40303】 3. 内定獲得後の企業との関係が学生に与える影響
—卒業前7月-2月の大学生パネル調査から—
○太田昌志（早稲田大学大学院・日本学術振興会）
梅崎修（法政大学）
- 10：30－10：55
【40304】 4. 大学での学びとキャリアのつながり
—タイ国私立大学日本語学科卒業生の語りから—
佐川祥予（静岡大学）
- 11：00－11：25
【40305】 5. 出身大学所在地への就職を促す地域教育の課題
—COC+採択校を中心として—
小山治（京都産業大学）

IV－4 部会

高等教育（2）

9月6日（日）9：00－11：25

司会

小林信一（広島大学） 北村友人（東京大学）

- 9：00－9：25
【40401】 1. 米国高等教育機関における学生の多様化について
—留学生受け入れ理念に着目して—
陣田内美（名古屋大学大学院）
- 9：30－9：55
【40402】 2. 日本の留学派遣制度が内在するトリレンマ
—なぜ長期留学ではなく短期留学が増加するのか—
小林元気（宮崎公立大学）
- 10：00－10：25
【40403】 3. 「新しい学生」をどう支援するか
—フランスの大学における学生支援の観察から—
田川千尋（大阪大学）
- 10：30－10：55
【40404】 4. 2010年代高等教育政策決定過程の変容
—イノベーションへの大学の包括をもたらしているもの—
羽田貴史（広島大学）
- 11：00－11：25
【40405】 5. 研究倫理教育の制度化とその影響要因に関する考察
—米国大学の事例をもとに—
小竹雅子（島根大学）

IV－5 部会

高等教育（3）

9月6日（日）9：00－11：20

司会

浦田広朗（桜美林大学） 藤埴智一（宮崎大学）

- 9：00－9：25 1. 正課外教育の成果
【40501】 江原昭博（関西学院大学）
- 9：30－9：55 2. 人文社会系大学教育の分野別習得度
【40502】 本田由紀（東京大学）
- 10：00－10：25 3. イギリスの大学における教育力評価
【40503】 —学生が作成する年次質保証報告書に着目して—
 田中正弘（筑波大学）
- 10：30－11：20 4. グローバル・コンピテンスの習得に文系／理系人材で差はあるか
【40504】 —日米中の大卒・院卒者調査から—
 ○山田礼子（同志社大学）
 ○木村拓也（九州大学）
 ○杉谷祐美子（青山学院大学）
 堺完（大分大学）
 荒井克弘（大学入試センター）
 塚原修一（関西国際大学）
 小笠原正明（北海道大学 非会員）
 森利枝（大学改革支援・学位授与機構）

IV－6 部会

社会階層と教育達成

9月6日（日）9：00－11：55

司会

吉川徹（大阪大学） 荒牧草平（日本女子大学）

- | | |
|------------------------|--|
| 9：00－9：25
【40601】 | 1. いじめの経験割合、および被害者の属性の比較
真田英毅（東北大学大学院） |
| 9：30－9：55
【40602】 | 2. 東京近郊のインターナショナル・スクールを選択する日本人家族
—家族の階層背景に注目して—
五十嵐洋己（千葉大学） |
| 10：00－10：25
【40603】 | 3. 出身階層の多次元性からみた高校卒業者の進路選択
古田和久（新潟大学） |
| 10：30－10：55
【40604】 | 4. 地位達成における社会階層の交差性
小川和孝（東北大学） |
| 11：00－11：25
【40605】 | 5. 教育調査の階層変数に関する測定誤差と無回答
白川俊之（広島大学） |
| 11：30－11：55
【40606】 | 6. 出身家庭の社会経済的環境と子どもの発達
—「子どもの生活と学びに関する親子調査（JLSCP）」の分析—
石田浩（東京大学） |

Ⅳ－７部会

多様な教育問題

9月6日（日）9：00－11：50

司会

額賀美紗子（東京大学） 利根川佳子（早稲田大学）

- 9：00－9：25
【40701】
1. 中国都市近郊農村家庭の教育戦略と地域移動
付江天（上智大学大学院）
- 9：30－9：55
【40702】
2. 台湾における「台語文運動（Written Taiwanese Movement）」に見る復興と伝承
—二つのアプローチの事例より—
齋藤幸世（関西学院大学）
- 10：00－10：25
【40703】
3. オルタナティブ教育における「卓越」と「公正」
—文献レビューにもとづく考察から—
○橋本あかね（大阪大学）
櫻木晴日（大阪大学大学院）
藤根雅之（美作大学）
- 10：30－10：55
【40704】
4. 高等学校段階の「共生教育」の教授内容に関する一考察
—南アフリカ共和国のLife Orientationの教科書を手がかりに—
坂口真康（兵庫教育大学）
- 11：00－11：50
【40705】
5. 食マイノリティと多様性
—学校給食における食物アレルギーおよび宗教食対応をめぐる—
○山ノ内裕子（関西大学）
○四方利明（立命館大学）

学校で起こる教育課題に教育社会学はどう貢献できるか？

9月6日（日）13：30-16：30

【趣旨】

わが国における学校をとりまくさまざまな問題は、学校で起こる教育課題にとどまらず大きな社会的な課題にまで発展する勢いを見せている。その中心的な問題として指摘されるのがいじめ、不登校などである。いずれも子どもたちの人間関係に起因し、それが「息苦しさ」や「生きづらさ」といった現象に収斂され、解釈されることが多い。

かつて、こうした問題をとらえるとき、教育社会学では大きく2つの方向からのアプローチが試みられた。ひとつは、社会の変動（変化）が惹起する問題と捉え、社会言説や計量的な分析を中心に構造的な要因を析出するといったマクロな視点からの研究であり、もうひとつは、児童・生徒を対象とした、ナラティブな「語り」などを中心としたミクロな事例研究である。

そこで、今回の課題研究 I においては、こうした学校で起こる教育課題を再度捉えなおし、構造的な視点や事例研究的な視点がこうした問題にどのような解釈を与えてきたのかを再考し、今後の教育社会学にそれらがどう貢献できるのかを中心的な課題として継続研究してみたい。

現在、こうした学校で起こる教育課題について、量的調査、質的調査を行いながら、その事象を正確に判断し、子どもたちの実態を精緻に分析してきた経緯がある研究者に声掛けをしている。また、指定討論者には、教育社会学が貢献してきた知見を整理しつつ、今後どのような形で貢献すべきかについて総括していただきたいと考えている。

なお、初年度はいじめ問題を、2年目は不登校をテーマの中心に据えて課題研究の継続性を担保しながら、それぞれの問題への接近を試みることを考えたい。

司会：原清治（佛教大学）・山内乾史（神戸大学）

報告1：内藤朝雄（明治大学）

【50101】『どう貢献できるか』をめぐる三論考

— (1) 〈界〉の共働連関モデル、(2) いじめをモデル現象とした新たな発見および学問領域生成、(3) 個人的倫理に方向付けられた貢献の例—

報告2：加納寛子（山形大学・非会員）

【50102】「SNSの普及とネットいじめ

—未然に防止するための教育のあり方について—

報告3：荻上チキ（教育評論家・非会員）

【50103】「研究とメディアを架橋する—情報提供NPOから見える視座—」

討論者：松浦善満（大阪千代田短期大学）

（研究委員：原清治・山内乾史・作田誠一郎・浅田瞳）

能力主義をどう考えるか？

9月6日（日）13：30-16：30

【趣旨】

現在、グローバル化の進展やAIの発展のなか、新しい能力の必要性が高まっている（ヘックマンの幼児教育論のように能力に関する経済学の台頭もみられる）。教育改革をはじめとし、そうした能力形成の要請に応えることが新時代の教育の役割となりつつある。従来型の学校教育では対応できないとしながらも教育の役割の重要性が高まっていると見ることができる。

しかし、近年、そうした非認知的能力等に代表される能力形成や新しい能力観のありようを「能力主義の暴走」（中村 2018）と批判的に捉える動きもある。さらに、新しい能力をめぐるのは、そうした能力への期待が高まる一方、それを身につけなければサバイバルできないという不安を伴っており、ともすれば「能力形成せざるもの食うべからず」（能力主義の下に生存が危うくなることが容認される）という論理を招きやすい。

こうした近年の能力をめぐる錯綜状況において、これまでメリトクラシー（能力主義）という観点から教育社会をみてきた教育社会学は、これらの問題をどのように考えていくのか。ここでは、どのような能力を育成し選抜に用いるべきかといった議論を超えて、能力主義自体が孕む問題について、新しい能力の必要性を重視する立場、能力主義の暴走を指摘する立場、生存保障の観点から能力主義を批判する立場など、様々な観点から能力主義社会のあり方を考えていく。

司会：大多和直樹（お茶の水女子大学）

報告1：辰巳哲子（リクルートワークス研究所）

【50201】「文脈依存型の能力主義に関する考察」

報告2：中村高康（東京大学）

【50202】「暴走する能力主義のゆくえ—嗜癖としての教育「改革」—」

報告3：山口毅（帝京大学）

【50203】「反能力主義—教育と生存保障の結びつきに関する規範的考察—」

討論者：大多和直樹（お茶の水女子大学）

討論者：溝上慎一（学校法人桐蔭学園理事長・非会員）

（研究委員：大多和直樹・居郷至伸・都村聞人・寺崎里水・堀健志・山口毅・長谷川誠）

高等教育の国際化と「知識外交」

9月6日（日）13:30-16:30

【趣旨】

世界各地の大学が国際化を推進し、研究者や学生たちの国際的な移動が活発化した結果、留学生数は急増し、これらの人々が果たす文化的な「外交官」としての役割が学術研究において重要視されつつある。また、留学生の中には自国への帰国後、政治や経済、文化等の諸分野で指導的な立場に就く者も少なくない。これらの現象は1990年代より国際政治学や国際関係論の中で、「知識外交」とその影響として注目を集めてきたが、今日では先進諸国を中心に、より戦略的な「知識外交」あるいは「科学外交」の推進が、国家の国際的な競争力の維持・向上のため不可欠であると広く認識されている。今や開発途上国においても知識基盤経済が進展し、特に社会のリーダー層の留学が開発にもたらすインパクトは無視できない。このような現状を踏まえ、提案者（北村）を代表とする研究チーム（科学研究費補助金・基盤（A）：15H02623「アジアにおける知識外交と高等教育の国際化に関する実証的研究」）では、国際機関のユネスコ・アジア太平洋地域教育局（ユネスコ・バンコク）と共に、過去4回の専門家会議の開催を通して、アジア地域における高等教育の国際化の現状に関する国別の調査研究や国際化の進捗を測る指標の開発に取り組んできた。

本課題研究の特色として、高等教育の国際化を「知識外交」という概念枠組みを用いて、学術的に分析しながら議論を深めるところが挙げられる。また、現象としての国際化を単に学生・研究者等の移動やプログラムの多様化といった表層的なレベルで捉えるのではなく、それぞれの社会で生じている政治的な動向や、社会経済的な動態に着目しつつ、大学が果たし得る社会的役割についても考察することを目指すものである。そのためには、教育社会学が積み重ねてきた様々な知見を踏まえた議論が欠かせない。これらを踏まえた上で、本課題研究においてはこれまでの研究成果について報告するとともに、近年のアジア各国および日本人大学生の海外留学の変容について議論を行う場としたい。

司会：北村友人（東京大学）

報告1：米澤彰純（東北大学）

【50301】「世界の学士課程改革から「国際」を問い直す
—パンデミック後の転換を見据えて—」

報告2：渡部由紀（東北大学・非会員）

【50302】「大学と学生の国際化と知識外交
—高等教育の国際化における社会的責任と貢献という課題—」

報告3：星野晶成（名古屋大学・非会員）

【50303】「日本人大学生の留学変容
—ASEAN留学プログラム開発・実施における卒業生の役割—」

討論者：杉村美紀（上智大学）

討論者：太田浩（一橋大学・非会員）

（研究委員：北村友人・山田肖子・江田英里香・芦田明美・大東直樹）

オンデマンド報告

- 【90001】 1. 非大都市圏で働く小中学校教員の地域移動経験
—大学入学・卒業時を中心に—
富江英俊（関西学院大学）
- 【90002】 2. 「学歴ロンダリング」批判にみる日本の教育選抜
福島由依（東京大学大学院）
- 【90003】 3. 中学校段階におけるニューカマー生徒支援の課題
—小中学校におけるニューカマー支援の比較分析から—
伊藤莉央（大阪大学大学院）
- 【90004】 4. 言語仲介者としての経験
—中国系移民第二世代の事例から—
○坪田光平（職業能力開発総合大学校）
○劉麗鳳（日本大学）
- 【90005】 5. ノルウェーの保育施設における親の保育参画を支える仕組みに関する研究
松田こずえ（お茶の水女子大学大学院）
- 【90006】 6. 課題集中校における特別指導に関する一考察
—個に応じた指導・個別指導の検討—
柊澤利也（早稲田大学大学院）
- 【90007】 7. オルタナティブ教育運動のレトリック
藤根雅之（美作大学）
- 【90008】 8. 日本生まれの「外国人」のアイデンティティ表出
—複数の「場」との関わりに着目して—
荻田直子（大阪成蹊大学）
- 【90009】 9. 「在外日本語教師」という表象の価値
—フランスとウズベキスタンの邦人女性の意識に注目して—
平畑奈美（東洋大学）

- 【90010】 1 0. 地方移住する家族の教育戦略
高橋均（北海道教育大学旭川校）
- 【90011】 1 1. 高校教育機会とアクセスの趨勢
—収容力の地域間格差—
村山詩帆（佐賀大学）
- 【90012】 1 2. 成人学習者のセグメントによる学習ニーズに応じた
学習環境整備に関する研究
○岩崎久美子（放送大学）
○森村繁晴（大東文化大学（非常勤））
○金藤ふゆ子（文教大学）
- 【90013】 1 3. X 高専の在学生在が示す学校への帰属意識に関する報告
—向学校的生徒文化を中心とした分析—
加藤朱莉（関西学院大学大学院）
- 【90014】 1 4. AI 化時代の対人援助職に求められる研修プログラムの検討
—人称の身体感覚を拡張するワークの事例分析から—
廿日出里美（安田女子短期大学）
- 【90015】 1 5. 美術系大学卒業生の初期キャリアと美術教育の役割
—2 時点の聞き取りデータをもとに—
喜始照宣（園田学園女子大学）
- 【90016】 1 6. 日本におけるリカレント教育の可能性
—テキサス大学のサイバーセキュリティ教育の事例—
○塚原修一（関西国際大学）
濱名篤（関西国際大学）
- 【90017】 1 7. 高等教育におけるカリキュラム拡張に伴う課題
伊藤奈賀子（鹿児島大学）

第16回

児童教育実践 についての 研究助成

ことば、まなび、おうえん

応募受付開始

2020.7.1 [Wed.] ▶ 10.31 [Sat.]

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

大学SD講座 3

大学業務の実践方法

中井俊樹・宮林常崇 編

大学職員の具体的な業務の実践方法に焦点を当て、業務に向かう姿勢や効率的な文書の作成と管理の方法、コミュニケーションの方法などを現場の職員の視点で体系的に提示する。

A5判並製・196頁 本体2,000円

大学SD講座 1

大学の組織と運営

中井俊樹 編

制度や法規など大学職員に必要な知識を体系的にまとめ、個々の業務と全体の活動とのつながりや、ステークホルダーとの関わり方などを現場の職員の視点で具体的に提示する。

A5判並製・208頁 本体2,000円

専門職としての教師教育者 ——教師を育てるひとの役割、行動と成長

ミーケ・ルーネンベルク ユリエン・デンヘルンク 他著
武田信子 山辺恵理子 監訳

働き方、学びの支援の方法など、過去20年間の各国の教師教育者の専門性開発に関する先行研究を網羅的に紹介。

A5判並製・216頁 本体2,800円

大学の国際化とODA参加

萱島信子 著

日本の政府開発援助（ODA）に関与し、国際化を図る大学が増えている。三大学の文献や統計資料から、ODA参加が大学の国際化にもたらした影響を実証し、連携のあり方を提言。

A5判上製・352頁 本体5,400円

玉川大学出版部 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940 [価格税別]

的確に社会を読みとり、課題に挑む

社会と調査

No.24 特集 声を出しづらい人々と 社会調査

調査困難者と社会調査……高野和良

結婚差別の経験を聞くことをめぐる「困難」……齋藤直子

日本語の理解が難しい人びと……高畑 幸

少年非行調査の課題と今後の展望……作田誠一郎

調査と介入……井上真理子

岩永雅也／保坂 稔／渡辺貴史／横井桃子／川端 亮／梁 承哲／土屋 敦／上村泰裕／
飯田 豊／井上雄大／稲垣佑典／山本 努／池田義孝／飯島千鶴／安藤寿康／稲月 正／
津止正敏／近藤博之／大谷信介／後藤範章／山本耕平／玉野和志／永吉希久子／
神林 龍／大和多直樹／石田 浩／金菱 清／橋爪裕人／齋藤暁子

購入方法『社会と調査』は年2回発売（3月、9月）

1 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。

発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。

2 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。

※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。

※社会調査協会では販売を行っておりません。



定価 本体 1,200円＋税

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会

東京都文京区本郷 5-25-18 エルスタンザ本郷東大前 3F

TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374

<http://jasr.or.jp/>

入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

制作・販売 株式会社 京都通信社

京都市中京区室町通御池上る御池之町 309

TEL: 075-211-2340 Mail: shigetoba@kyoto-info.com

<http://www.kyoto-info.com/>

書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。

途上国世界の教育と開発

公正な世界を求めて

■小松太郎[編] A5版・定価(本体1,780円+税)

「公平・公正な世界の実現」のための、教育の役割と課題を考察し、今後の途上国世界の教育と国際協力協力の展望を描く。

応用言語学から英語教育へ

上智大学英語教授法TESOLコースの過去・現在・未来

■坂本光代、渡部良典[共編] A5版・定価(本体1,700円+税)

日本の英語教育において先駆的な試みが続けている上智大学大学院TESOLコースについて詳しく紹介。応用言語学の基礎的概念や研究法を解説し、担当教員らによる研究例も掲載。英語教育に関わる全ての方におすすり。

日本で出会う世界

国内で実現する短期集中型国際研修

■櫻井勇介、文 景楠、佐藤亮司、杉村美紀[編]

A5判・定価(本体1,800円+税)

日本にいながらにして海外の学生とともに学び、グローバルな資質の育成を図る短期集中型の国際教育プログラム。高等教育の場で広まりつつあるその試みの先導的な実践報告を通して、計画・実施の手立て、成果、課題、今後の可能性まで提示する画期的な書。

CLIL(内容言語統合型学習)上智大学外国語教育の新たな挑戦 第3巻 授業と教材

■池田 真、渡部良典、和泉伸一[共編]

A5判・定価(本体1,600円+税)

CLILの教室実践がより身近に感じられるよう、教材例と授業例を数多く掲載。評価方法についても解説。CLILの理解と実践をさらに深めるシリーズ第3弾。

ラテンアメリカの連帯経済

コモン・グッドの再生をめざして

■幡谷則子[編] A5版・定価(本体2,500円+税)

市場経済に対抗し、尊厳ある生活基盤の回復のためラテンアメリカの人々が実践してきた連帯経済について、民衆の運動や背景、個別事例の特徴を比較分析するとともに、連帯経済が公正で持続的な社会の担い手になりうるか、その可能性を探る。

新しいヨーロッパ学

■上智大学外国語学部ヨーロッパ研究コース[編]

A5版(本体2,500円+税)

歴史、政治、経済、言語、宗教、スポーツ、文化など多彩な16のトピックを通して、国家・民族が複雑に入り組み、統合と分断のはざまで揺れる「モザイク状のヨーロッパ」の実相に迫る書。

<発行>
SUP上智大学出版
<https://www.sophia.ac.jp>

<発売>
ぎょうせい

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11
TEL.0120-953-431 FAX.0120-953-495
<https://shop.gyousei.jp>

月刊 高校教育

●毎月13日発売 ●B5判
●定価(本体980円+税)・年間誌代13,550円(税別)(増刊2冊含む)
■高校教育の現状や課題を鋭く追求し、学校経営の考え方と事例を満載した、高等学校管理職必携の雑誌。

対象：高等学校管理職

月刊 生徒指導

●毎月13日発売 ●B5判
●定価(本体820円+税)・年間誌代11,680円(税別)(増刊2冊含む)
■小学校から高校の先生を対象とした、生徒指導の諸課題への取り組み方と、学級経営の技術や考え方を論じた雑誌。

対象：小・中・高等学校教師 生徒指導担当教員

置き去りにされた 高校生たち

加速する高校改革の中での「教育困難校」

●朝比奈なを著 ●四六判224頁 ●定価(本体1,800円+税)
ISBN9784176191248 88011

■大学入試改革、学習指導要領改訂と改革の続く高校で、置き去りにされた高校生はいないか。教育困難校の実態から高校改革の課題に迫る渾身のルポ。

対象：高校教師、その他一般

G 学事出版

ご注文は

TEL03-3253-4626 FAX 0120-655-514
<http://www.gakuji.co.jp>

月刊「教育展望」

2020年 特集

毎月1日発行、A5判、64頁、448円＋税

9月号 ポストコロナ時代の教育を考える

7・8月合併号 深い学びの実現に向けて

6月号 教科等横断の視点に立った教育

5月号 社会的資質や行動を育む生徒指導とは

4月号 授業研究と豊かな授業づくり

3月号 新学習指導要領で求められる評価とは

1・2月合併号 学校とは何か―改めて教育を問直す―

2019年 特集

12月号 第48回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第48回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 学びの一貫や系統を大切にする学校間(異校種間)連携

9月号 資質・能力を育む言語能力の育成

7・8月合併号 AI時代の教育

―AI時代に身につけたい資質・能力とは―

6月号 新学習指導要領における学習評価について

5月号 主体的・対話的で深い学びが授業を変える

4月号 カリキュラム・マネジメントが学校を変える

3月号 資質・能力を伸ばす評価活動

1・2月合併号 『教育展望』創刊700号を語る

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判、2381円＋税

No.52 (第49回教育展望セミナー)

2020年7月発行 114頁

これからの時代に向けた教育の改革と創造Ⅱ

―学習の基礎となる資質・能力や現代的な諸課題に対応する資質・能力をどうに育成するか―

No.51 (第48回教育展望セミナー)

2019年7月発行 126頁

これからの時代に向けた教育の改革と創造

―AIの時代を視野に入れた教師力―

一般財団法人 **教育調査研究所**
(理事長 新井郁男)

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL : 03-3520-2970 FAX : 03-5579-6574
E-Mail : chouken@estate.ocn.ne.jp

岡原 正幸 編著

アート・ライフ・社会学

エンバワするアートベース・リサーチ

写真・映画、パフォーマンス、ダンス、演劇、美術、サウンド、文学、生ライブを見て、考えて、もっと深く新しいことを学び、伝える！

柏木智子・武井哲郎 編著

貧困・外国人世帯の子どもへの

包括的支援 地域・学校・行政の挑戦

地域・学校・行政における実践事例を紹介、包括的支援のあり方を考える。

堀 恵 著

児童扶養手当制度の

形成と展開

児童扶養手当制度の推移と支給金額の決定過程を追う。

神原 文子 著

子づれシングルの社会学

貧困、被差別、生きづらさ

彼女たちの生活困難や生きづらさを見据え、女性として、ひとり親として受けてきた重複的な差別的存在をあぶり出す。

若者支援の日英比較 社会関係資本の観点から

井上 慧真 著 ● 3800円

現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題

布川 あゆみ 著 ● 7200円 進む学校の終極と問われる役割分担のあり方

学習社会学の構想

赤尾 勝己 編著 ● 2600円

大学生のための社会学入門

篠原清夫・栗田真樹 編著 ● 2200円 日本学術会議 参照基準対応

368頁 4400円



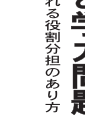
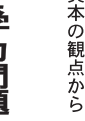
186頁 2600円



366頁 6000円



356頁 4200円



晃洋書房

京都市右京区西院北矢野町七番地
TEL 075(312)0788 / FAX 075(312)7447
http://www.koyoshibo.co.jp

※表示価格は税別



有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

●図書目録送呈●

犯罪・非行の社会学

補訂版 予価 二六〇〇円
(有斐閣ブックス)

岡邊 健編 ●常識をとらえなおす視座

ビット・バイ・ビット

四〇〇〇円
A5判

マシユ・J・サルガニツク著／瀧川裕貴・常松 淳・
阪本拓人・大林真也訳 ●デジタル社会調査入門

女性学・男性学

第3版 二〇〇〇円
(有斐閣アルファ)

伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子著 ●ジェンダー論入門

21世紀家族へ

第4版 一九〇〇円
(有斐閣選書)

落合恵美子著 ●家族の戦後体制の見かた・超えかた

現代文化論

二〇〇〇円
(有斐閣アルファ)

吉見俊哉著 ●新しい人文知とは何か

社会学

新版 (New Liberal Arts Selection) 二五〇〇円

長谷川公一・浜 日出夫・藤村正之・町村敬志著

はじめてのケア論

一八〇〇円
(有斐閣ハートワイド)

三井さよ著

問いからはじめる社会運動論

二〇〇〇円
(有斐閣ハートワイド)

濱西栄司・鈴木彩加・中根多恵・青木聡子・小杉亮子著

社会運動の現在

二五〇〇円
A5判

長谷川公一編 ●市民社会の声

ロビイングの政治社会学

四三〇〇円
A5判

原田 峻著 ●NPO法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動

ふらっとライフ

それぞれの「日常」からみえる社会
ふらっと教育パートナーズ 編 伏見裕子 編

未来を創る教育制度論

川口洋嘗・古里貴士・中山弘之 編著 [新版]
最新動向を踏まえ、教育制度の役割、歴史、現状
と課題等、基礎を徹底解説。(A5判 2200円)

「子ども人間学」という思想と実践

生田久美子・安村清美 編著 (A5判 1700円)
(佐伯胖・石橋哲成・内藤知美・太田由加里・犬塚典子 著)

ふれる社会学 ケイン樹里安・上原健太郎 編著

(菊池哲彦・八木寛之・有國明弘・喜多満里花・中村香住・金南咲子・
栢木清吾・佐々木洋子・稲津秀樹・松本秀昭 著) (A5判 1800円)

短期大学教育の新たな地平

安部恵美子・南里悦史 編著 (A5判 2400円)

教師と学生が知っておくべき教育動向

武田明典 編著 (B5判 1800円)

自己成長を目指す教職実践演習テキスト

原田恵理子・森山賢一 編著 (B5判 1600円)

現代日本の教育を考える——理念と現実 [第3版]

岩本俊郎・浪本勝年 編著 (A5判 1400円)

現代日本の教師を考える「改訂版」

岩本俊郎・浪本勝年 編著 (A判 1300円)

教師のメソッドロジー

社会学的に教育実践を創るために
北澤 毅・間山広朗 編著 (A5判 2100円)

変動社会と子どもの発達

住田正樹・高島秀樹 編著 (A5判 2100円)



北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-2-6 <http://www.hokujin.jp> (価格税別)
TEL 03-3715-1525 FAX 03-5720-1488 E-Mail eigyol@hokujin.jp

大学のあり方や、その前の中高のあり方、社会との関わりについて
鬼才と碩学が
縦横無尽に語り合う!

大学って
問題だらけ!

大学の問題 問題の大学

竹内洋 × 佐藤優

2019年10月1日刊行 定価：本体1,500円＋税



時事通信出版局 <https://bookpub.jiji.com/>

〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル 8階 TEL：03-5565-2155

教育学年報11

教育研究の新章

既刊案内

藤田英典・黒崎勲・片桐芳雄・佐藤学・編

⑦『ジエナダーと教育』⑧『子ども問題』⑨『大学改革』⑩『教育学の最新線』⑪『5465円⑫256円⑬460円⑭756円⑮546円⑯756円⑰546円⑱756円⑲546円⑳756円㉑546円㉒756円㉓546円㉔756円㉕546円㉖756円㉗546円㉘756円㉙546円㉚756円㉛546円㉜756円㉝546円㉞756円㉟546円㊱756円㊲546円㊳756円㊴546円㊵756円㊶546円㊷756円㊸546円㊹756円㊺546円㊻756円㊼546円㊽756円㊾546円㊿756円

矢野智司・今井康雄・秋田喜代美・佐藤学・広田昭孝・編 変貌する教育学

急激に閉鎖化する教育現場。旧来の研究の探求に挑む研究者たちの渾身の論文集。2,950円

永田佳之・編 変容する世界と日本のオルタナティブ教育

多様性を基盤とし共生を原点とするオルタナティブ教育の可能性を世界一三カ国の実態に見る。5,800円

平井秀幸 刑務所処遇の社会学

認知行動療法・新自由主義的規律・統治性

6,200円

福元真由美

都市に誕生した保育の系譜
アソシエーションと郊外のユートピア

3,500円

岩田一正

教育メディア空間の言説実践
明治後期から昭和初期までの教育問題の構成

3,500円

林潤平

自然愛をめぐる教育の近代日本
自然観の創出と変容の一系譜

3,500円

谷川至孝

英国労働党の教育政策「第三の道」
教育と福祉の連携

3,900円

藤田英典

家族とジエナダー
教育と社会の構成原理

2,730円

佐藤学

学びの快楽
ダイアローグへ

5,200円

矢野智司

意味が躍動する生とは何か
遊ぶ子どもの人間学

1,950円

世織書房

神奈川県横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176・FAX045-319-0644
 ホームページ・<http://homepage3.nifty.com/seori/> (価格税込)

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 編

子どもの学びと成長を追う

※最新刊

2万組の親子パネル調査から

大規模な継続調査により、子どもの自立と成長に関する知見を提供。

清水睦美・妹尾渉・日下田岳史・堀健志・松田洋介・山本宏樹

震災と学校のエスノグラフィー

近代教育システムの慣性と摩擦

被災中学校の教師と子どもの8年をフィールドワークにつづく。

耳塚寛明・中西祐子・上田智子 編著

平等の教育社会学

現代教育の診断と処方箋

教育達成や学力格差の問題に焦点を当てて調査分析し、解決策を示す。

久富善之・長谷川裕・福島裕敏 編著

教師の責任と教職倫理

経年調査にみる教員文化の変容

全国10の地域と震災被災地の教師への質問紙調査による実証分析。

荒牧草平

教育格差のかくれ背景

親のパーソナルネットワークと学歴志向

学歴志向に影響を与えているのは何か、調査よりその要因に迫る。

清水美紀

子育てをめぐる公私再編のポリティクス

幼稚園における預かり保育に着目して

政策言説分析と保育者親への調査から、意味づけの変遷を捉える。

石田浩・有田伸・藤原翔 編著

人生の歩みを追跡する

東大社研パネル調査でみる現代日本社会

若年者・壮年者を追跡した全国調査から、格差問題を明らかにする。

*表示価格は税別



勁草書房

<http://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854



想像力を拓く教育社会学

● 編著者 高橋 均 ● 本体価格 2,600円+税 ● 書籍詳細ページ



身近だからこそ、全体像が見えにくい。

社会構造と文脈を踏まえて「教育」を見抜くために

私たちはみな、家庭・学校・地域社会で教育を受け、社会に生きている。

身近なものであるからこそ、自分の経験に基づいて誰もが教育について語ることができる。

その一方、論じられる対象が身近であることは、かえってその全体像や、構造が見えにくいことにもなる。教育と、その背景にある社会構造や文脈を、どのように捉えることができるのか。本書では、そのために有効な教育社会学の考え方を身につけることをねらいとして、様々な教育社会学の考え方や、現実起こっている事象の分析を収めた。

「教育社会学の想像力」を持つことで、教職や、教育への関わりを目指す人々に、アクティブな学びを前進してもらうための1冊。

新刊
情報

地方公立進学高校の受験指導

ミクロレベルから見る文化・認知的制度の確立と変容

- 著者 中村 知世 (大月短期大学准教授)
- 予価:3,200円+税 ● 刊行時期:9月上旬

大学進学熱が高まる1990年代、公立でありながらトップクラスの受験結果を残すことを課せられた教師は、どのように「進学校」制度を確立したのか。受験結果を教師が請け負う「受験請負指導」が、「進学校」制度として確立・変容する様子を描く。



熱意はきっと子どもに届く。
東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号
TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208

● <http://www.toyokan.co.jp>
● @Toyokan_Shuppan
● @Toyokanforteachers

◎シリーズ人間科学 4 2020 年 3 月刊行

学ぶ・教える

中澤 渉・野村晴夫 編

四六判 284 ページ ■2000 円＋税

「学ぶ」ことは環境適応の過程であると同時に、知識やスキルを獲得しようとする行為である。「教える」人が介在することで促進され、「教える」ことで「学ぶ」こともある。人間の本性を理解するための見方とその魅力を提示。

◎シリーズ人間科学 5 2020 年 3 月刊行

病む

山中浩司・石蔵文信 編

四六判 242 ページ ■2000 円＋税

人間と人間社会にとっての普遍的な問題としての「病む」ことの意味を見出し、治療や癒やしの制度と意味を論じる。「病む」こととそれに向けられる社会制度と社会のまなざしが、普遍的で不可分の重要性をもつことを明らかにする。

〈しんどい学校〉の教員文化

社会的マイノリティの子どもと向き合う
教員の仕事・アイデンティティ・キャリア

中村瑛仁 著

A5 判 280 ページ ■4400 円＋税

社会的マイノリティが在籍する学校の教員たちはどのように子どもや保護者、職務と向き合っているか。厳しい労働環境における教員たちへの支援の方策を提示する。

共生学宣言

志水宏吉, 河森正人, 栗本英世,
檜垣立哉, モハーチ・ゲルゲイ 編

A5 判 340 ページ ■2500 円＋税

「他者との出会い」「グローバリゼーション」という基礎的概念から、共生にまつわる諸課題への実践を体系化する。大阪大学大学院人間科学研究科が宣言する「共生学」とは。

大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント
TEL:06-6877-1614 FAX:06-6877-1617 e-mail:info@osaka-up.or.jp

リングア・ギルドは、
多言語コミュニケーションの
お手伝いをします。

論文、アブストラクト、
タイトルなどの翻訳・リライト
学会発表サポート
文字おこし

言葉を紡ぎだし、人と人をつなぐ翻訳会社

株式会社 リングア・ギルド

各国語翻訳・リライト・学会発表支援・字幕翻訳
テープ起こし・DTP・WEB デザイン・通訳



〒151-0066 東京都渋谷区西原 3-2-2 高本ビル 4 階

TEL: 03-5452-4450 E-mail: lingua@linguaguild.com URL: linguaguild.com

2020 年 7 月 31 日発行

発行者 日本教育社会学会 第72回大会実行委員会
E-mail: jses_72@yahoo.co.jp

印刷所 よしみ工業株式会社